

令和6年9月20日

国立大学図書館協会
各会員館館長 殿

東海北陸地区国立大学図書館協会会長
名古屋大学附属図書館長
佐久間 淳一 [公印省略]

令和6年度国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業研修会
「隗より始めよ！貴重書・特別コレクション・デジタルアーカイブ」の
開催について（通知）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、国立大学図書館協会東海北陸地区協会では、本年度における地区協会助成事業として、別紙実施要項のとおり研修会を開催いたします。つきましては、貴館職員の皆様へご周知いただきますとともに、ご参加につきましてご配慮いただきたくお願い申し上げます。

記

テーマ：隗より始めよ！貴重書・特別コレクション・デジタルアーカイブ

日時：令和6年11月22日（金） 13：30 ～ 16：40（予定）

開催形式：オンライン・対面研修

事例報告会：オンライン（teams）+現地 13：30 ～ 15：10

意見交換会：現地のみ 15：20 ～ 16：40

開催場所：富山大学附属図書館中央図書館2階特別閲覧室

申込先：下記URLのフォームからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/V3MM0ThEPg>

※アクセスURL等ご案内は後日、参加者の方にメールにてお知らせします。

申込期限：令和6年11月18日（月）まで

※定員に達した場合、期限より早く〆切となる可能性があります。

内容：詳細は別紙要項をご確認ください。

【お問い合わせ先】

富山大学附属図書館

担当：研究推進部学術コンテンツ課 生田・林

E-Mail：toshokan@adm.u-toyama.ac.jp / TEL：076-434-7162

令和6年度 国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業

「貴重書・特別コレクション管理・利活用の諸課題」研修会 実施要項

主担当機関：富山大学

テーマ：隗より始めよ！貴重書・特別コレクション・デジタルアーカイブ

日時：令和6年11月22日（金）13:30－16:40（予定）

場所：富山大学附属図書館中央図書館2階特別閲覧室

実施形式：オンライン・対面研修

事例報告：ハイブリッド（teams+現地）開催

意見交換：現地開催

主催：国立大学図書館協会東海北陸地区協会

対象者：国立大学図書館職員

※各参加機関からの意見交換を予定しているため、現地での参加者には、3～5分程度の状況報告をお願いしたい。このため、貴重書・特別コレクション・デジタルアーカイブの担当者または業務内容を把握している職員が望ましい。

定員：事例報告のみ（オンライン）50名程度

事例報告+意見交換（現地）定員15名程度

趣旨：貴重書コレクション管理・活用にあたっては、昨今の国立大学図書館をとりまく厳しい状況もあり、他大学でも人員面・予算面等、年々状況が厳しくなっている。本研修では、国立大学図書館の貴重書コレクションの管理・活用の現状確認を行い、各館の抱える課題の共有、さらには協働可能な方策の可能性について検討を行いたい。

申込先：下記URLのフォームからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/V3MM0ThEPg>

※アクセスURL等ご案内は後日、参加者の方にメールにてお知らせします。

申込期限：令和6年11月18日（月）まで

※定員に達した場合、期限より早く〆切となる可能性があります。

プログラム：

13:30-13:35 開会挨拶

13:35-13:50 アンケート結果報告 富山大学

13:50-14:10 事例報告：青柳 和仁 氏（島根大学附属図書館企画・整備グループ）

※オンラインでの発表

14:10-14:30 事例報告：徳永 澄子 氏（信州大学附属図書館情報システム・学術情報（雑誌）グループ）

14:30-14:50 事例報告：中村 美里 氏（東京大学附属図書館情報サービス課資料整備チーム）

14:50-15:10 事例報告等に関する質疑応答

（以上、ハイブリッド形式）

15:10-15:20 休憩

(以下、現地開催のみ)

15:20-16:00 参加館からの事例報告

16:00-16:40 ワークショップ（情報交換・課題共有）

16:40-16:45 閉会挨拶

16:50-17:15 富山大学中央図書館見学（希望者）

18:00-20:00 情報交換会（希望者）

<参考>R5 アンケート実施

「重書・特別コレクション管理・利活用の諸課題に関するアンケート」

実施期間：令和5年12月12日（火）～ 令和6年1月12日（金）

対象機関：東海北陸地区の国立大学図書館協会参加機関

実施方法：メール依頼

概要：貴重書・特別コレクションの定義と所蔵状況、保管環境、管理環境、人員体制、
教員との連携、利活用実績、デジタル化、課題等について、各機関の状況を調査
し、調査結果を、回答機関・研修事業等で共有・活用する。

実施結果：12 機関（14 図書館）より回答あり、結果報告書作成（令和6年3月）

【実施に関するお問い合わせ】

富山大学附属図書館

担当：研究推進部学術コンテンツ課 生田・林

E-Mail：toshokan@adm.u-toyama.ac.jp / TEL：076-434-7162